



釜中優次議員が 府民文化常任委員会で質問

釜中優次議員(堺市西区選出)は、3月12日に開かれた府民文化常任委員会において、大阪観光局の海外への情報発信や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組みなどについて質問しました。

〈釜中 優次 かまなか ゆうじ〉

昭和40年3月2日生まれ。大阪府議会議員1期目。大阪商業大学附属堺高校卒業。堺市立浜寺東小学校PTA会長、同浜寺中学校PTA会長を経て、自民党堺市西区支部長。府議会府民文化常任委員会副委員長。
<http://www2.ocn.ne.jp/~kamanaka/>

大阪観光局から海外への、 情報発信を問う

Q. 釜中議員

昨年、アジア数カ国を視察し、現地のジェトロ(日本貿易振興機構)を訪問して様々な意見を聞いたが、東京や京都は有名で、逆に大阪はあまり知られていないのではないかと感じた。大阪に来てもらうことが大変重要と考えるが、大阪観光局の海外に向けた情報発信はどのように取り組んでいるのか。

A. 都市魅力・
観光課長

公式サイト「OSAKA-INFO」において、大阪の魅力やイベント情報などを英語、韓国語、中国語、タイ語の5言語で発信している。この外国語サイトへのアクセス件数(平成25年度)は約2100万件で、対前年同期比の約2倍に増加となっている。また口コミ情報を活用したSNS(*)ではタイ語の会員が1年で10倍になるなど飛躍的に伸びている。

(※ソーシャルネットワーキングサービス…インターネット上で情報交換し合う為に構築されたしくみ)

旅行者の不満の声に応える 無料Wi-Fiの整備について

Q. 釜中議員

ビザ発給要件の緩和により、タイをはじめ、東南アジアからの旅行者は今後ますます伸びていくと思われる。海外から大阪に来ると「無料のWi-Fi環境が整備されていない」などの不満が多いと聞かす、無料Wi-Fiの現状と今後の展開について伺う。

A. 都市魅力・
観光課長

無料Wi-Fiについては大阪観光局が「Osaka Free Wi-Fi」と名付け、1月29日から鉄道主要駅やホテルなど42カ所でサービスを開始した。年内には府内3000カ所を目標に順次拡大していく予定。外国人旅行者の利便性を考え、接続への手続きも関空に到着後、簡単な設定ですぐに利用できるようにしている。

2020年東京オリンピック・ パラリンピック に向けた取り組みについて

Q. 釜中議員

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、どれだけ波及効果を大阪に取り込めるかが課題である。府民文化部、教育委員会、福祉部が連携を強化し、府民の誰もがスポーツを楽しめる大阪の実現に向けて強力に取り組んでいくべきと考えるが、どうか。

A. 生涯スポーツ
進行課長

教育委員会、福祉部とも連携して昨年度に「大阪府スポーツ推進計画」を策定し、府民のスポーツ実施率向上を目指し、取り組んでいる。関係部局との連携を強化し、様々な形でスポーツを「する、みる、ささえる」ことができる取り組みをさらに進めていく。

決算特別委員会で 安心子ども基金事業費(*) の活用について質問

(平成25年11月18日)

(※子供を安心して育てることができるような体制整備を行うことが目的の基金)

Q. 釜中議員

『安心子ども基金』の事業内容に「保育所の整備」があるが、府内の保育所入所待機児童数は減少したと聞いた。その内容と保育所の定員拡大への取り組みを伺う。

子育て
A. 支援課長

待機児童数は前年に比べ660人少ない1,390人で3年ぶりに減少した(*)。『安心子ども基金』を活用した保育所整備費助成により、大阪市、堺市をはじめとする待機児童の多い市において定員拡大の取り組みが進み、待機児童数が減少した。(※平成25年4月1日時点・大阪府全体)

Q. 釜中議員

基金の「認定子ども園等の新たな保育需要への対応」はどのようにしているのか。

子育て
A. 支援課長

「認定外保育施設運営支援事業」として堺市などの4市に対し、29カ所の利用児童845人分に係る運営費への助成を行った(*)。引き続き、『安心子ども基金』を活用して支援に努める。(※平成24年度の実績)

釜中議員

大阪は世界遺産を有する京都や奈良、港町神戸にも近くて立地がよく、他府県としっかりした連携の取り組みが進めば、メリットが大きい。外国人にとって「大阪が関西の顔」と思ってもらえるよう期待している。

また、現在世界遺産登録を目指している堺市を含めた「百舌鳥・古市古墳群」については、訪問者の受入体制の整備など、登録後を見据えたまちづくりを含め、民間とも連携しながら、国・大阪府・堺市が一体となり、早期実現に向け積極的に取り組んでいくよう要望する。